

2025年度 1学年通信

## 「自分を耕す」



甲府東高等学校  
2025.8.22(金)  
第6号

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください



### 「初心を思い出そう」

学年主任 樋口真理子

今年、2025年は戦後80年という節目の年です。戦争の記憶が遠くなりつつある今だからこそ、私たちは「平和の中で生きることの意味」や「自分の人生をどう築いていくか」を改めて考える必要があります。皆さんが今こうして学び、仲間と過ごし、未来に向かって歩んでいることは、過去の多くの人の努力と願いの上に成り立っているのです。

さて、夏休みが終わり、新しい季節の始まりにあたって、もう一度「初心」に立ち返り、自分自身の目標や志を見つめ直してみましょう。

4月、皆さんは希望と緊張を胸に高校生活をスタートさせました。学年テーマ「自分を耕す」のもと、私たちは日々の生活の中で、自分自身を育てる努力をしてきました。特に4月から7月は「**凡事徹底**」を合言葉に、①時間を守ること ②気持ちの良い挨拶をすること ③正しい言葉を使うこと ④人の話をしっかり聞くこと ⑤文章をしっかり読むこと を意識して過ごしてきましたね。

しかし、6月の蒼龍祭を終えた頃から、少しずつ気のゆるみが見受けられるようになりました。これは決して責めるための言葉ではありません。むしろ、今こそが「立て直し」のチャンスです。夏休みを経て、心の中に新しい風が吹いている今、もう一度入学時の気持ちを思い出し、「自律」という校訓に向けた土台づくりを再開しましょう。

2学期は、学年の指導重点項目である ① 質の高いソーシャルスキルを身につける

② 自己実現に向けてチャレンジする ③ 学力の基礎固めをする

この3つを柱に、皆さん一人ひとりが「自分を耕す」ことに向き合っていく期間です。

特に学力面では、夏休み明けから差が広がりやすくなると言われます。**予習→授業→復習のサイクル**を確立し、日々の課題や小テスト、模擬試験を有効に活用することで、**確かな学力**を身につけていきましょう。小さな努力の積み重ねが、やがて大きな成長につながります。今の自分にできることを、ひとつずつ丁寧に組み込んでいきましょう。高校生活は、ただ過ぎていく時間ではありません。**自分を育てるための大切な時間**です。小さな努力の積み重ねが、やがて大きな成長につながります。今の自分にできることを、ひとつずつ丁寧に組み込んでいきましょう。



【1学年リレー通信】

「英語」「学習」

5組担任 望月 京佳

私は「英語」が苦手だった。振り返ってみると、初めてそう感じたのは高校1年生のコミュニケーション英語（現・英語コミュニケーション）の授業だ。4月の早い段階で（もしかしたら最初の授業だったかもしれない）、教科書本文の穴埋め小テストがあった。周りの生徒は開始の合図とともに一斉に手

を止めることなく答えているようだった。一方の私は、本文が全く思い出せず、空欄もしくはぐちゃぐちゃなスペルの解答だった。今思えば、高校に入って初めての形式のテストで焦っていたし、周りの生徒だって正しい答えを書いているわけではなかったかもしれない。その本文の内容や小テストの点数は全く覚えていないが、「苦手」と強く思ってしまったことだけはよく覚えている。勉強したかもしないかも覚えていないようなテスト対策で、しかもそのテストができなかったというだけで、「英語」を苦手になる必要は全くなかったと今では考えられる。

英語学習する上で、「英語」という言葉はとても広い言葉だと感じる。「英語が苦手」だと思った時、その「英語」は何を指しているのだろうか。高校 1 年生の私は「中学生の時は少し勉強すれば満点が取れていたはずの英語のテスト、ましてや小テストで、勉強してきたはずなのに（実際は勉強になっていなかったが）、全く英語が思い出せず焦ったこと」に負の感情を抱いただけである。もしかしたら「英語」ではないところに「苦手」の原因があるかもしれない。

英語学習者として、常に頭にあることがある。「なぜ英語を学習するのか」ということである。「苦手」を感じた時、強く疑問に思うようになり、深く考えるようになった。皆さんはどんな考えを持っているだろうか。考えたことがあるだろうか。身近で直近の視点から考えると「学校で英語の授業があるから」や「受験科目に英語があるから」という理由があるかもしれない。確かにそうだ。また、時々「日本から一生出ないから英語はいらない」や「今の生活で英語を使うことはないからこれからも困らない」、「機械翻訳があるから英語は必要ない」などといった声も聞くことがある。これも一理ある。決して非難することではない。ただ、このような文脈で語られるときの「英語」は「勉強としての英語」である。必要に迫られなければ「勉強」はしなくても良いのである。

では、なぜ英語を「学習」するのか。1 つの明確な答えがあるわけではない。むしろ挙げ出すときりがない。ただ、私が今大切にしていることは、「言語は思いやり」であるということだ。単に多くの言語を知っている人が優しい人という話ではない。言語を学ぶと、表現されたことをその言語の視点から捉えられるようになるということだ。「言語はツールである」と言われることがある。コミュニケーションにおいて言語は「伝える手段」として用いられるが、「理解する手段」としても重要な役割を果たす。言語を学び、習得することで、自分の言語に持ち込むことなく相手の表現したいことを理解することができる。1 つの単語をとっても完全に同じ意味のものはない。自分の言語に持ち込むことは、相手の言語に含まれる要素を見落とすことになる。その時、齟齬が生まれる。他者のことを完全に理解することは不可能だが、理解の一助として言語を学んでいくことは可能なのではないだろうか。



9 月行事予定

| 日  | 曜 | 行                      | 事      | 日  | 曜 | 行                                        | 事               |
|----|---|------------------------|--------|----|---|------------------------------------------|-----------------|
| 1  | 月 |                        | 学習強化週間 | 16 | 火 |                                          | ☺               |
| 2  | 火 |                        |        | 17 | 水 | 登校時マナーアップ運動 ①② 5分短縮授業<br>芸術鑑賞会(文化ホール)    |                 |
| 3  | 水 |                        |        | 18 | 木 | 運動会                                      |                 |
| 4  | 木 | 第2回定期試験                |        | 19 | 金 | 第2回バイク通学者説明会(放)                          |                 |
| 5  | 金 |                        |        | 20 | 土 |                                          | 中学生対象部活動見学会・体験会 |
| 6  | 土 |                        |        | 21 | 日 |                                          |                 |
| 7  | 日 |                        |        | 22 | 月 |                                          | ☺               |
| 8  | 月 |                        |        | 23 | 火 | 秋分の日                                     |                 |
| 9  | 火 |                        |        | 24 | 水 |                                          |                 |
| 10 | 水 | 成績処理(生徒休業日)            |        | 25 | 木 | 運動会(予備日)                                 |                 |
| 11 | 木 |                        |        | 26 | 金 | 第2回進路希望調査(1・2年)                          |                 |
| 12 | 金 | ④答案返却 教育相談             |        | 27 | 土 | 駿台記述模試(1・2年希)<br>中学生対象部活動見学会・体験会         |                 |
| 13 | 土 | 土曜講座(1・2年) 絵の具講習会(美術室) |        | 28 | 日 |                                          |                 |
| 14 | 日 |                        |        | 29 | 月 |                                          | 教育実習(後期)        |
| 15 | 月 | 敬老の日                   |        | 30 | 火 | 5分短縮授業 ⑦納め式・新生徒会役員認証式・<br>生徒会役員交代式・前期終業式 |                 |